

# われら

# うし 丑年

## 今年の抱負

「丑年」生まれの方6人に、  
今年の抱負をお聞きしました。



1997年  
(平成9年)生まれ

近 ちはるさん  
(蛇 喰)

今年は、私の干支の丑年であり、小学校生活最後の年でもあります。

私の一番の目標は、水泳大会で入賞することです。去年は入賞できず、悔しい思いをしました。そのために、今から体力をつけていきたいです。

そして、色んなことに挑戦し、良い思い出をたくさん作りたと思っています。

今、ならっているソフトテニスもいい試合ができるようにがんばりたいです。



1961年  
(昭和36年)生まれ

新野 清さん  
(片 貝)

ついこの間、生まれたと思った二女が今月で3歳。月日の流れる早さを感じていたら自分が4回目の年男に。

去年は周りの方々に支えられ、初めての経験が多く「あっ」という間の1年でした。

10年ひと昔という言葉がありますが、今は5年、いや4年位のスピードで流れる環境の中で流れに取り残されないように、今年は色々挑戦したいと思っています。出来る範囲ではありますが...

# 今年

# うし 丑年



今年(うし)は丑年。丑は、十二支の二番目、偶蹄目反芻類ウシ科の動物です。胃が四つあって反芻することはよく知られています。

家畜としての牛には役牛、

肉牛、乳牛などがいます。日本でも戦前は、農耕や運搬などに盛んに役牛が活躍していました。最近では、そうした風景はあまり見かけなくなりました。家畜以外の牛には野牛、水牛などがいます。牛

が家畜として飼われたのは、新石器時代あたりが起源といわれています。日本でも縄文時代に牛が飼われていたという説があります。牛車は平安貴族の乗り物で、今もひな祭りのひな壇に飾られています。

私たちが牛と聞いてイメージするのは、牧場の風景によく似合う白と黒の乳牛ホルスタインではないでしょうか。また、年賀状などの干支のイラストに登場するのは茶色の牛が多いようです。

人との付き合いが長い牛は、ことわざにもよく登場します。よく知られているのは、「食事してすぐ寝ると牛になる」ではないでしょうか。昔は行儀の悪い子をしかるときに親がこの言葉をよく使ったものです。でも、最近、食後に慌てて動くよりも、少し休んだほうが消化にもよいといわれ、この言葉はあまり聞かれなくなりました。

牛はよく馬と比較されます。



1973年  
(昭和48年)生まれ

佐藤理恵さん  
(高瀬)

関川村に生まれ育ち、早いもので3回目の干支を迎えることになりました。

おかげ様で良き伴侶、可愛い4人の子宝、そして良き友にも恵まれ、忙しくも充実した毎日を過ごしています。

今年は、観光を担う一員として、自然豊かなこの村をPRしていければと思っております。また、家族全員の健康と皆様への感謝の心を忘れずに日々はげんでいけたらと願います。



1985年  
(昭和60年)生まれ

小池祐樹さん  
(下関)

気がつけば早いもので、2度目の丑年を迎えることになりました。また、社会人になり6年目を迎えようとしています。入社当時とは仕事に対する考え方も変わり、責任が持てる様になってきたと感じています。しかし、私生活ではだらしのない所が多く、周りの人に迷惑を掛けてしまうことがあります。

今年こそは、自分の行動に責任を持って過ごせればと思っています。そして関川村民として村の発展に協力していきたいと思えます。



1937年  
(昭和12年)生まれ

石山政十司さん  
(桂)

6回目の干支を迎え、自分の年齢に驚いています。区長や農協理事を退任後、気楽に過ごしていましたが、農家組合長の替わりを引き受け頑張っています。

一昨年は私の怪我から始まり、母が病気で他界、妻が事故で約1年間の入院と最悪でしたが、世間皆様の激励に感謝しております。これからは何ごとにも無理せず欲をせず、健康にも留意し、趣味の釣りや狩猟を楽しみ、家族旅行も復活し、余生を楽しく過ごしていきたいと思えます。



1949年  
(昭和24年)生まれ

市井ミワさん  
(山本)

月日の経つのは早いもので、姓が変わってから41年になります。毎日の生活に追われるように暮らしてきましたが、いろいろなことがありました。

これからは孫の成長を見守りながら、冬の間はねこちぐらを作り、春になったらアスパラガスの栽培をして、元気に暮らしたいと思えます。それから好きなことや友達とお茶飲みしながら、無理せず、健康に気をつけて楽しく過ごしていきたいと思えます。

「馬に交じりたる牛」は、能力の劣ったものがまじっているということ。「馬に乗らねば牛に乗れ」は、次善の策というふうな意味で使われます。どうやらことわざの上では、牛は馬にひけを取っています。

「牛歩戦術」は、牛がのろいことからきたもの。「牛のよだれ」は、だからだしていることと思われませんが、「商いは牛のよだれ」という言葉もあり、細く長く辛抱するのがよいということのようすです。「男と牛の子は急ぐものではない」も、牛のようにゆったりと構えよということす。

和牛人気により、最近各地では肉牛の飼育が盛んに行われており、地域おこしにひと役買っています。昨年は食品の偽装問題が起こり、牛肉にとつてもたいへんな年でしたが、今年もおいしい牛肉を食べられるといいですね。

今年の丑年は、モウ烈に頑張るもよし、のんびりと反芻しながら過ごすのもよし、角は突き合わさずに、仲良くいきたいものです。